

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

| | | | |
|-------------|--|-------------------------|-------|
| ■事業の担当課 | まちづくり部生涯学習文化課 | ■担当係 | 生涯学習係 |
| ■評価事業名称 | 生涯学習市民のつどい「遊・YOU学園祭」 | | |
| ■事業開始年度 | 平成3年度 | | |
| ■評価事業コード | 090200 - 014 | ■会計区分 | 一般会計 |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり | |
| | ■基本施策 | 02 社会教育の充実 | |
| | ■施策 | 01 生涯を通じた学習機会の充実 | |
| ■事業の類型 | 05 ソフト事業(任意) | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令に特に定めのないもの | | |
| ■法令等の名称 | | | |
| ■関連計画の名称 | 北上市教育振興基本計画 | | |
| ■事業の目的と概要 | 生涯学習への意識向上と、学習活動への参加促進。また、生涯学習社会の推進。生涯学習に関する各種実践発表、作品展示、共催団体及び生涯学習活動団体による企画コーナー等 | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 平成29年度事業計画 | 平成29年度事業量実績 |
|--------|----------------------|-------|--|---|
| 01 | 生涯学習市民のつどい「遊・YOU学園祭」 | 一般市民 | 生涯学習に関するミニステージ発表、作品展示、共催団体及び生涯学習活動団体による企画コーナー等。運営会議2回開催。ワン・ワールドフェスタ同時開催予定。 | 参加者数5,603人。ワン・ワールド・フェスタ、おでんせフェスティバルと同時開催。あわせて土日開催(土曜午後から日曜午後まで)。運営会議2回開催。 |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 直接事業費 | 255 | 173 | 189 | 148 | |
| 人件費 | 3,166 | 4,840 | 6,382 | 2,314 | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | 3,421 | 5,013 | 6,571 | 2,462 | |

4. 評価指標等の状況

| 指標コード | 指標名 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 指標の説明 |
|-------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------------------------|
| | 参加者数 | 2,807人 | 3,095人 | 5,529人 | 5,603人 | 遊・YOU学園祭当日の、来場者及び出演・従事者数 |
| | 参加者1人あたりコスト | 1,219円 | 1,620円 | 1,188円 | 439円 | フルコスト÷参加者数 |
| | 作品出品数 | 403点 | 358点 | 349点 | 284点 | 市内で活動する団体の出品数。 |

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

生涯学習活動団体の紹介の場の提供ができ、また、学習活動への参加のきっかけを図ることができた。国際交流・多文化共生事業とビル全体でのイベントとすることで、駅前の賑わいを創出することができた。

問題点・課題等

特になし。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

来場者により興味を持ってもらえるよう、発表や展示の仕方を工夫していく。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了